

Osaka MetroのMaaS構想における オンデマンドバスの取り組み



大阪市高速電気軌道株式会社 (Osaka Metro)

上新原 公治

2021年5月12日 (水)

1. 会社紹介P.2
2. Osaka Metroが目指す
MaaS構想の全体像P.6
3. Osaka Metroの具体的な推進P.9
4. Osaka MetroのMaaSの推進
～オンデマンドバス実証実験～P.13
5. オンデマンドバスのプロモーション施策P.24

1. 会社紹介

Osaka Metro 単独の概要

社名	大阪市高速電気軌道株式会社 (Osaka Metro Co., Ltd.)
本社所在地	大阪市西区九条南1丁目12番62号
事業開始年月日	2018年4月1日
資本金	2,500億円
総資産	9,823億円
従業員数	5,006名
営業キロ	137.8キロメートル
駅数	133駅
在籍車両数	1,364両
1日平均乗車人員	254万人

※2020年3月末時点

Osaka Metro Groupの概要



大阪市高速電気軌道株式会社

Osaka Metro

・鉄道事業、流通（駅ナカ）事業、都市開発事業、
デジタルマーケティング事業の推進

<Osaka Metro Group>

2019年度実績

○売上 1,841億円

○営業利益352億円

大阪シティバス（株）

バス事業



(株)大阪メトロサービス

鉄道関連事業
(広告・ICカード事業)
受託事業等



大阪地下街(株)

流通（地下街）事業

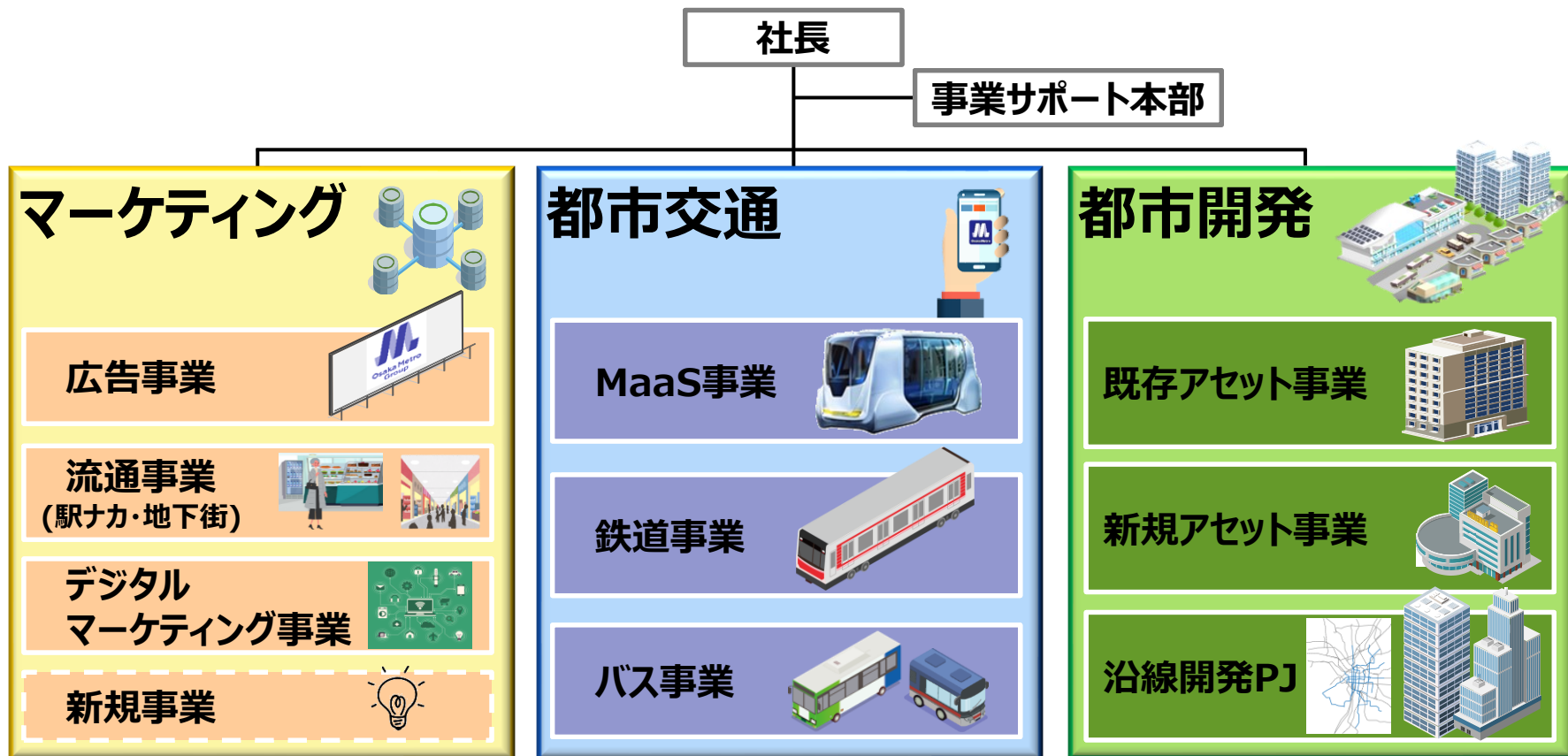


大阪メトロアドエラ(株)

広告事業



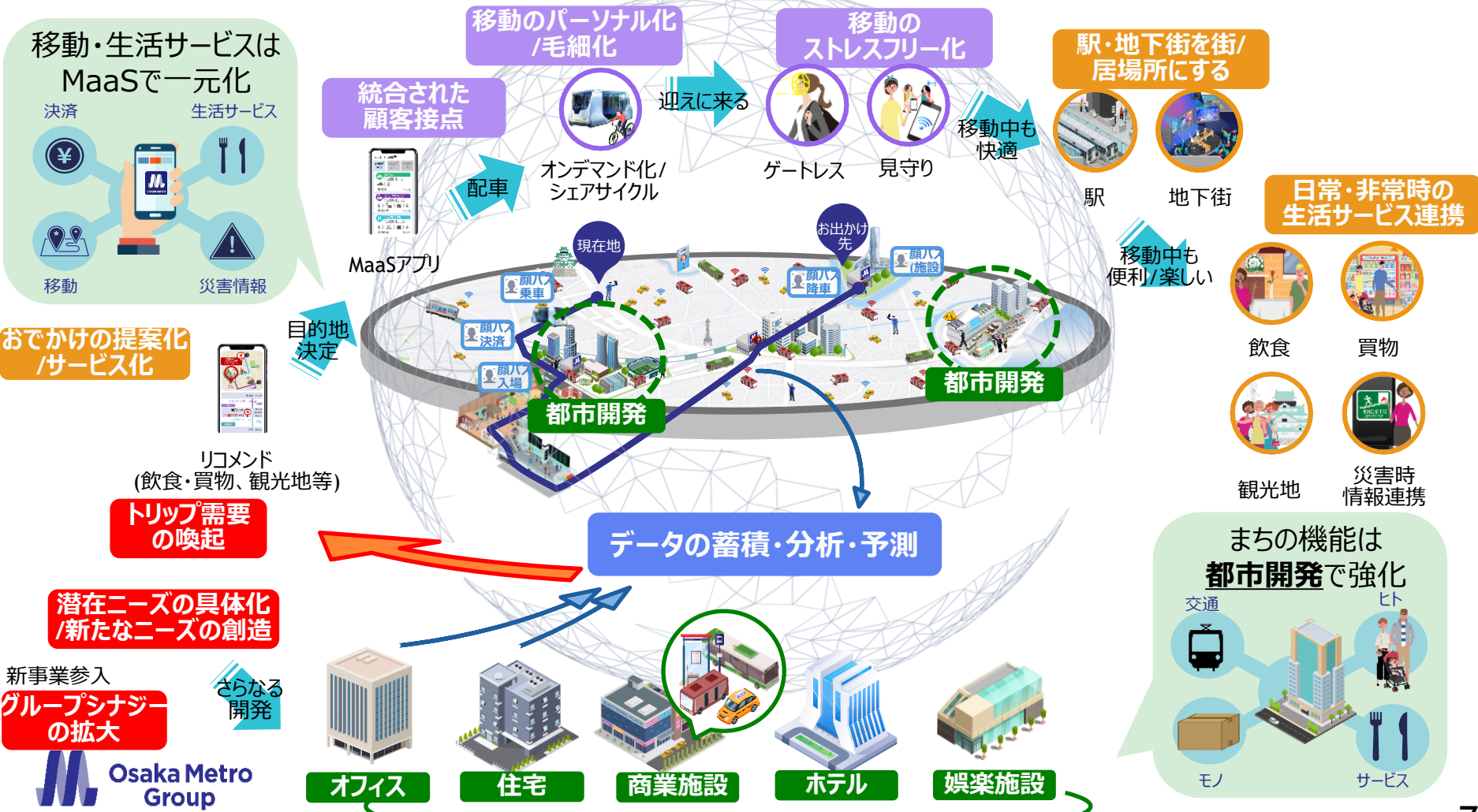
Osaka Metro Groupの各事業について



2. Osaka Metroが目指す MaaS構想の全体像

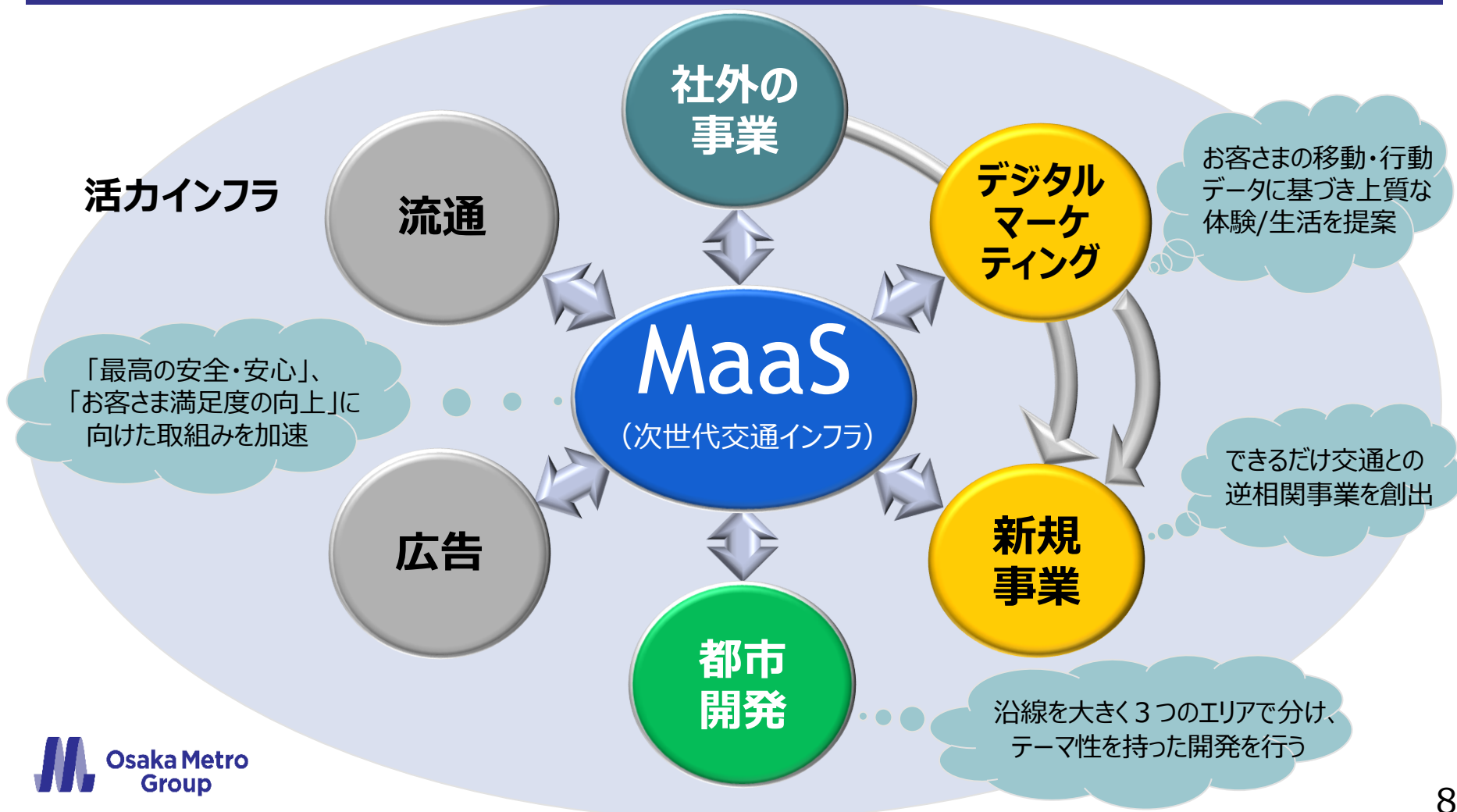
広義のMaaS構想（目指す姿）【次世代型交通インフラ】

大阪の発展に寄与する独自のエコシステム確立を目指し、高度なDX（Digital Transformation）により、沿線開発（都市開発）等の事業活動を含め、現在より圧倒的に便利で快適な交通連携サービスをフィジカル空間で確立すると共に、移動に生活の質を向上させる情報をつなぎ、お客さまと直接つながる様々なサービスレイヤーを重ねることで、「**世界に類のない都市型MaaS**」を構築する。



MaaSの位置づけ ～事業活動連携の構図～

鉄道・バスを中心とする大阪ならではの都市型MaaS構築を軸に、既存の流通（リテール）・広告事業、都市開発(沿線開発)・デジタルマーケティング事業、並びに、社外の事業をつなぎ、それぞれの相乗効果を発揮して、「交通を核にした生活まちづくり企業」を具現化し、事業全体の発展を目指す。



3. MaaSの具体的な推進

MaaSの具体的な推進

大阪の更なる発展のインフラとして、次世代都市交通への進化を目指し、大阪ならではの都市型MaaS構想を積極的に推進。

生活の課題

- 各サービスが分断されている

交通の課題

- ファースト/ラストワンマイルのご負担
- 運行頻度が少ない
- 乗継が不便
- 上記課題が地域によって異なる

移動の課題

- 階段が多い
- 経路が長い

Ⅲ. 交通と他業種を連携したサービス提供

- デジタルによる企業間連携



Ⅱ. 交通の大変革

- 交通課題の解消
- 交通の更なる利便性を引き出す
- 安全性向上と環境負荷低減



Ⅰ. 施設のアップデート

- 安全安心と快適性を提供

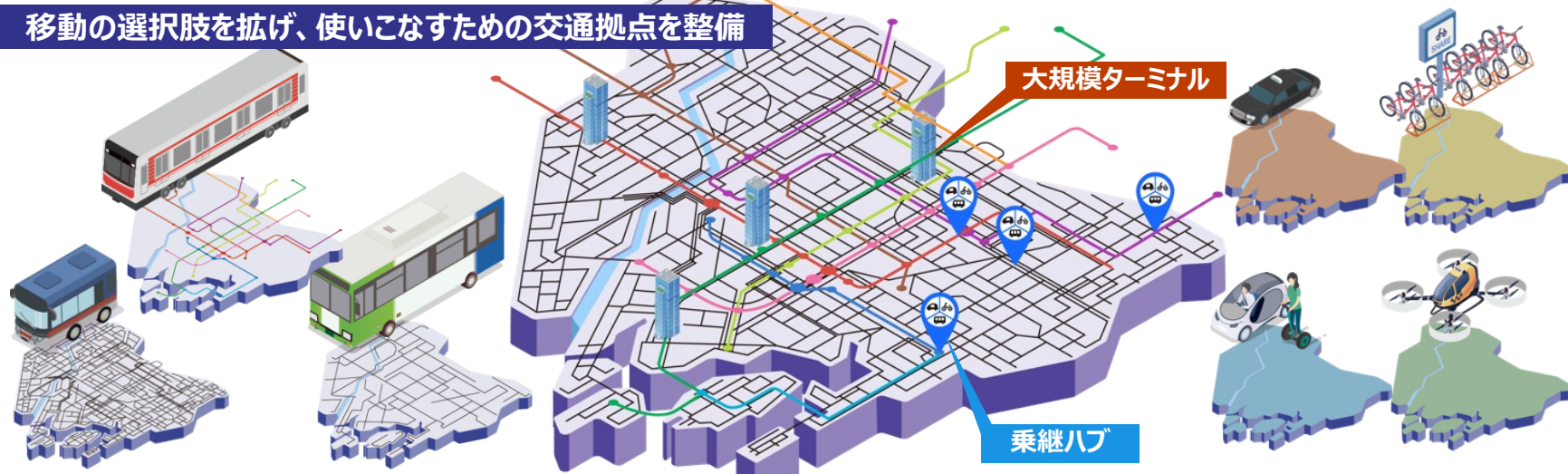


顔認証 AR案内 可動式ホーム柵 混雑緩和 etc...

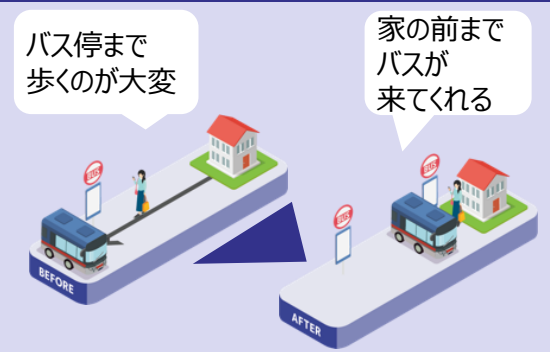
MaaSの具体的な推進

交通の大変革を目指し、移動の選択肢拡大・交通拠点の整備、移動サービスメッシュの拡充、フレキシブルな運行などと共に、自動運転化などの技術進化に取り組む。

移動の選択肢を拡げ、使いこなすための交通拠点を整備



ファースト/ラストワンマイルの移動



お客様の都合・ニーズに合わせて運行時刻を変化



交通の可能性を拡げる自動運転バス



MaaSの具体的な推進

生活の質向上に寄与するため、交通（人の移動）と他業務との連携促進により、新たな移動価値やサービスの提供を目指す。

さまざまな事業者と協業をスタートさせます

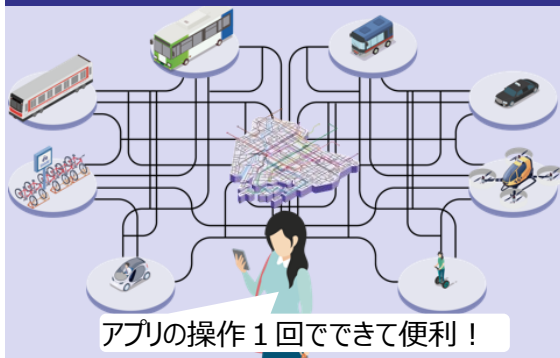


MaaS アプリを中心に、デジタルサービスをリアルサービスに連携し簡単に利用しやすく

その中心になるのが
MaaS アプリ



お客さま一人ひとりの状況などに最適化した移動



移動先サービスとの連携



移動中もサービス提供



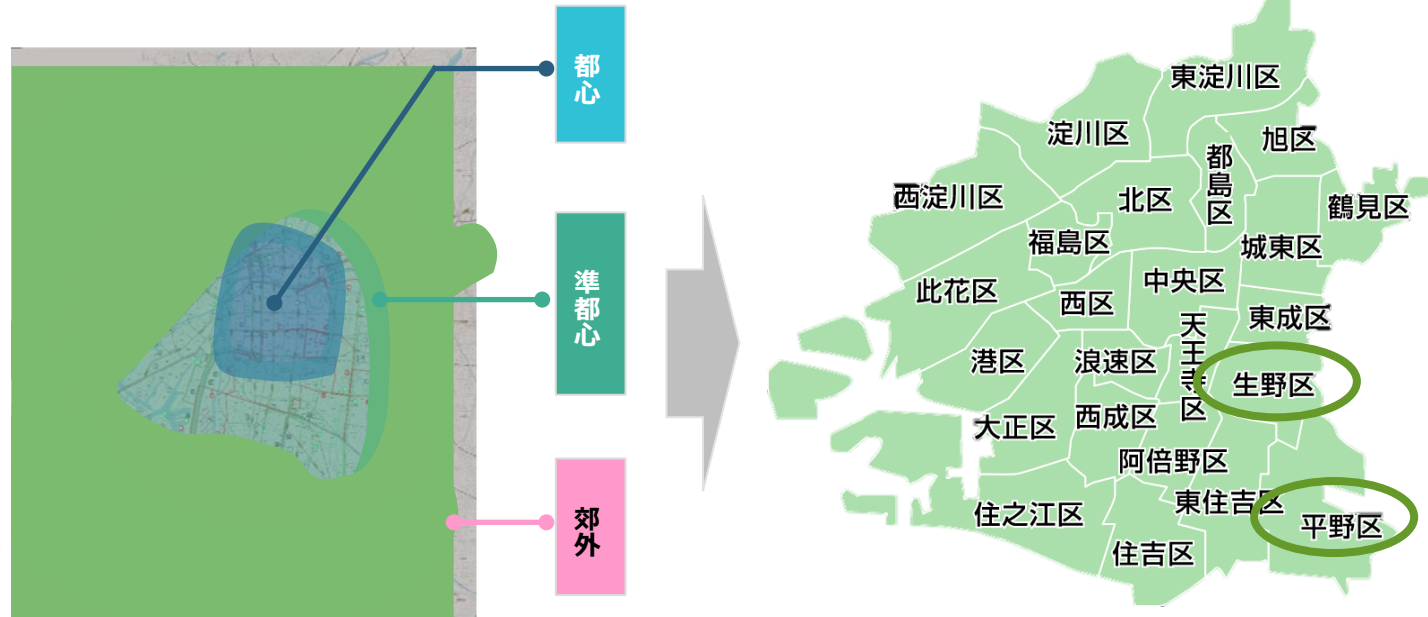
4. Osaka MetroのMaaSの推進 ～オンデマンドバス実証実験～

オンデマンドバスの社会実験のエリア選定

都心に比べて交通が不便な地域において、オンデマンドバスのご利用が高いと想定される地域から、社会実験を開始。

■選定エリア

選定エリア	特徴
準 都 心	生野区 定住人口に対して、移動数が少ない 自転車分担率が高い 幹線バス（BRT含む）利用率の変化が分かりやすい
郊 外	平野区 すべての移動のうち、短距離徒歩移動の割合が高い 人口一人あたりの移動量が平均的な区のうち、最も人口が多い

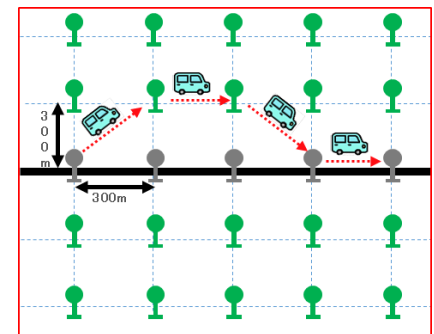


オンデマンドバスの社会実験の概要

2021年3月30日、生野区・平野区でオンデマンドバスの社会実験をスタート。
 お客さまの利便性を徹底的に向上させるため、定時運行に加え「需要に応じた臨時運行」に改革。

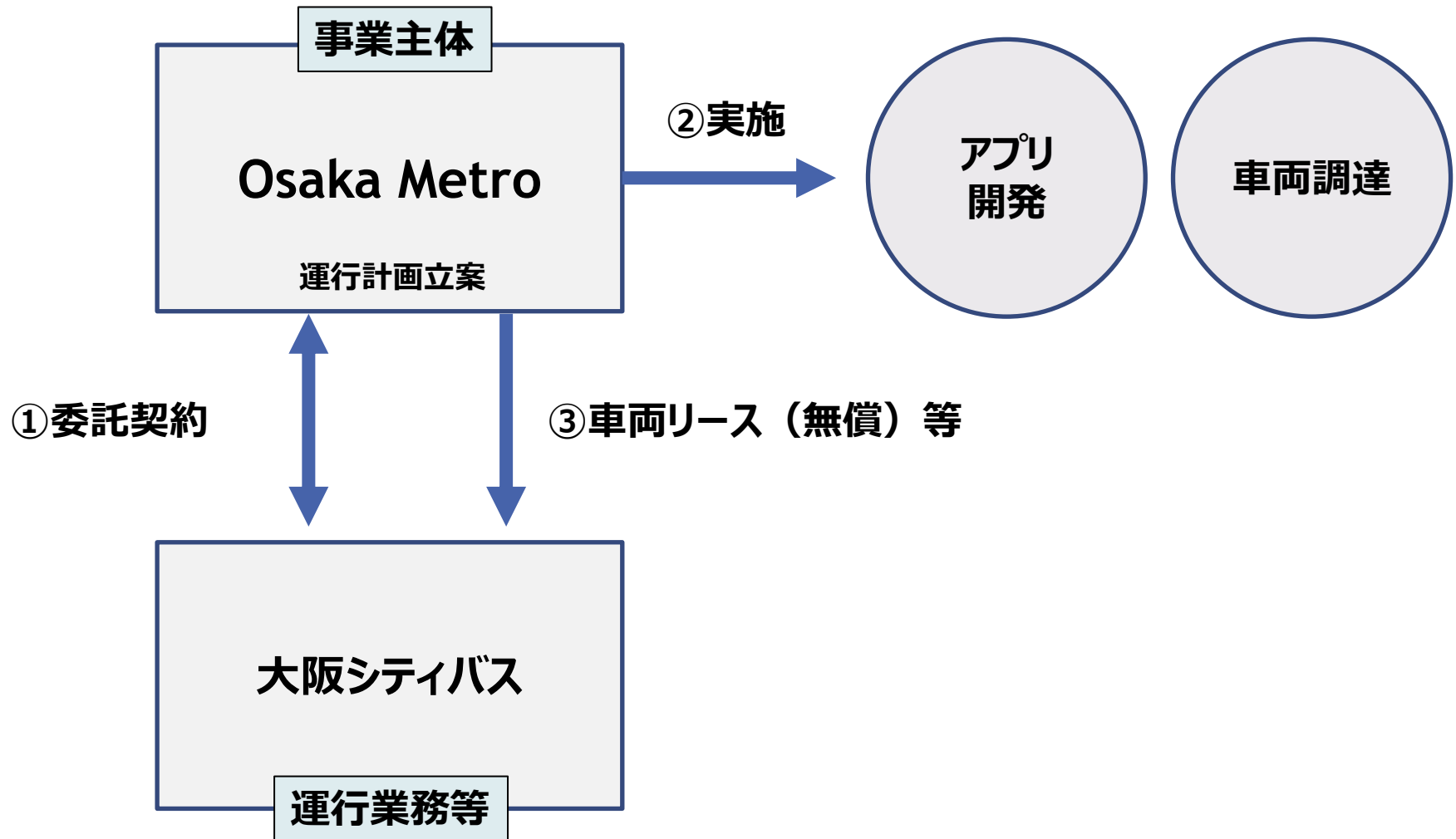
項目	実施内容
目的	ファーストワンマイル・ラストワンマイルのご負担などの交通課題の解消や更なる利便性向上に向け、効率的な交通手段を提供し、新規需要を創出する。
運行事業者	Osaka Metro Group 【大阪市高速電気軌道株式会社・大阪シティバス株式会社】
運行態様	区域運行（道路運送法施行規則第3条の3）
運行経路	予約に基づきシステムが自動生成した経路を運行 （AIオンデマンド型交通）
運行時間	運行時間帯 : 6:00～23:00 時間帯別運行回数 : 1台1時間あたり最大3便 （1時間あたり最大9便）
運賃	210円（路線バスと同様）
走行車両	ワンボックスカー（8人乗り）
予約方法	「Osaka MaaS」アプリまたは電話

運行区域



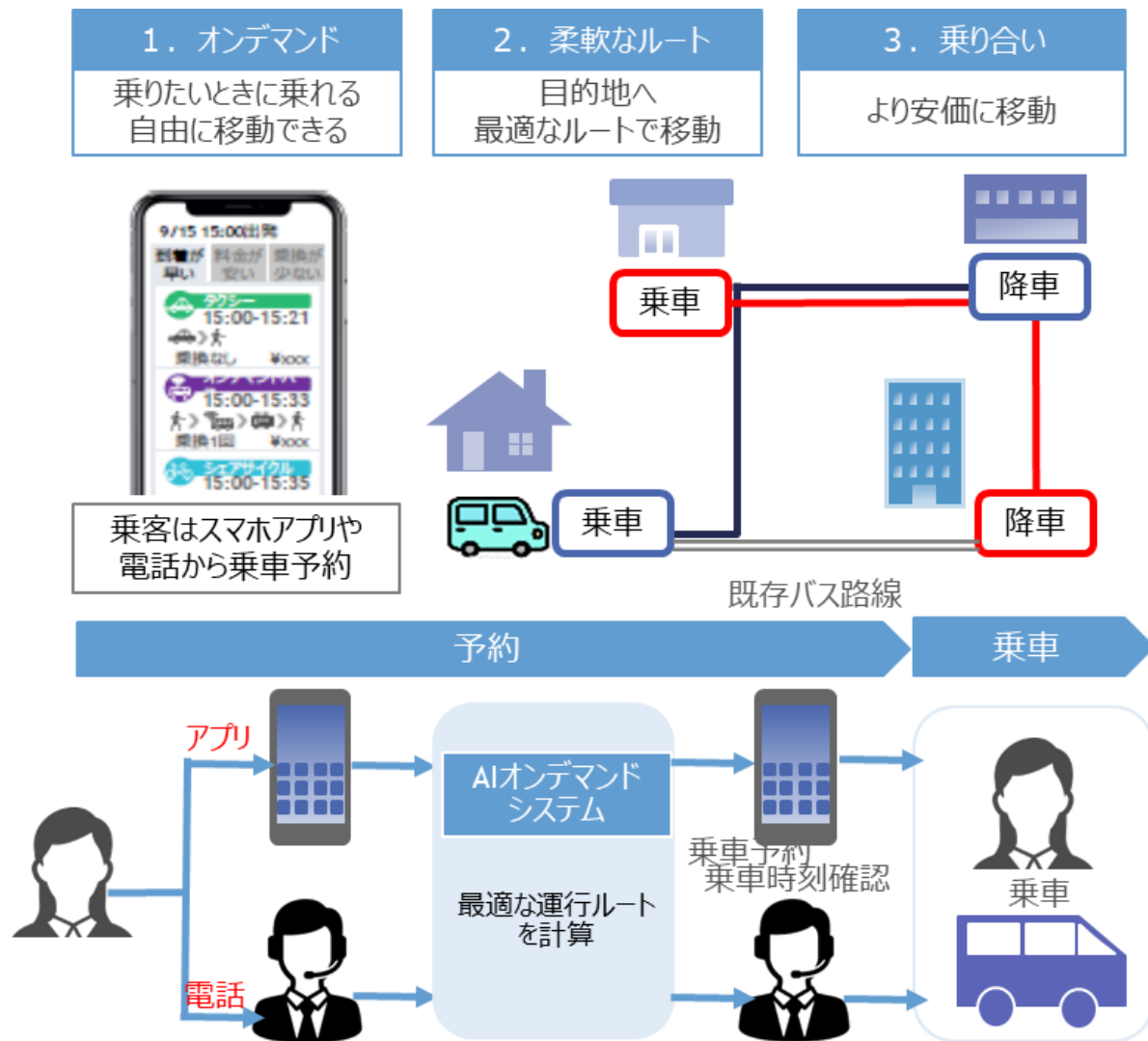
- : 既存バス路線
- : 既存バス停
- : 新設されたオンデマンドバス専用乗降場所

Osaka Metro・OCBスキーム図



オンデマンドバスのシステム概要

AIオンデマンドシステムの概要



オンデマンドバスの予約方法

オンデマンドバス

IKUNO AREA

予約方法

アプリで予約



アプリ「Osaka MaaS 社会実験版」を起動するとホーム画面が開きます。

1 アプリ起動



乗車日時や乗降場所を指定して、ご予約いただけます。

出発地から目的地までの経路内にオンデマンドバスを含む場合、ご予約いただけます。

2 条件入力



2 条件入力



3 乗降場所選択



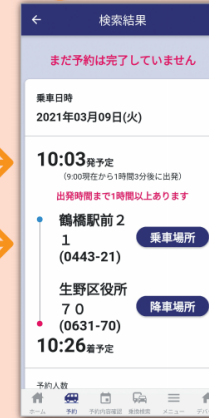
3 経路表示



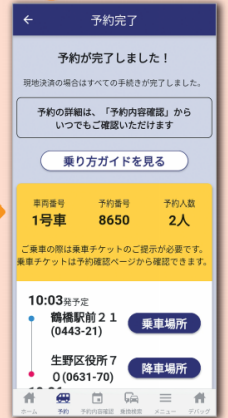
● あらかじめユーザ登録、クレジットカード登録をしていただきますと、スムーズにご予約いただけます。

生野区 当日0時から予約可能

4 予約確認



5 予約完了



予約
内容を確認し誤りがなければ、「予約」をタップして予約を完了してください。

予約キャンセル
予約をキャンセルすることもできます。

※画面は開発中のものであり、公開中のアプリとは異なる場合があります。

アプリのダウンロードはこちらから



オンデマンドバス社会実験の運行エリア

既存のバス停に加え、オンデマンドバス専用の58か所を追加。計190か所の乗降場所を設定し、地域住民のみなさまの利便性を高めた形で実施中。

生野区エリア

● オンデマンドバス専用乗降場所（新設） ● 既存のバス停 兼 オンデマンドバス乗降場所



平野区エリア

● オンデマンドバス専用乗降場所（新設） ● 既存のバス停 兼 オンデマンドバス乗降場所



オンデマンドバス車両



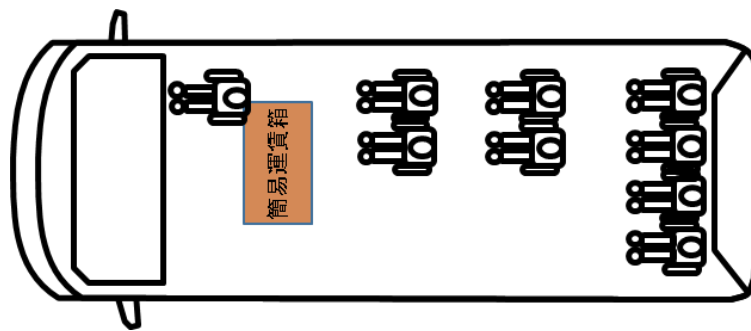
オンデマンドバス車両

時期	使用車両	車両数 (最大)
運行開始日～6月	ワンボックス車両 (乗車定員 (運転席・助手席除く) 8名)	3台
	※要請に応じて車いす対応車両を配車依頼	-
7月以降	ワンボックス車両 (乗車定員 (運転席・助手席除く) 8名)	2台
	トールワゴン車両 (乗車定員 (運転席除く) 4名) <車いすの利用者の対応可能>	1台

予備車 (ワンボックス車両) : 1台 ※生野区、平野区兼用

※需要を踏まえ、時間帯別に運行車両台数は変動

座席のイメージ (参考)



ワンボックス車両

オンデマンドバス乗降場所（ミーティングスポット）



オンデマンドバス社会実験の実施スケジュール

生野区・平野区での社会実験期間は2021年9月30日までの半年間。この間のご利用データや地域のみなさまの声をきめ細やかに吸い上げ、分析・改善を繰り返しながらサービスの最適化を図り、10月以降の社会実験の継続、運行エリアの拡大につなげていく。

- 社会実験の期間を3つのフェーズに分け、フェーズ①の社会実験の結果をもとに、2021年10月には運行内容の見直し、MaaSアプリのバージョンアップ等を実施。2021年12月からは、生野区・平野区内の運行エリアを拡大予定。
- 区役所には、広報紙やホームページで、住民の方へ社会実験への周知はご協力いただいているが、更なる社会実験の認知度向上、ご利用者数増に向け、更なる広報活動の強化、説明会の開催を通じてのPRに取り組む。

	2021										2022		
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
スケジュール	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>3月 サービス開始</p> <p>フェーズ①</p> </div> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>10月 サービス改善</p> <p>フェーズ②</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>12月 エリア拡大</p> <p>フェーズ③</p> </div> </div>												
住民の方への 広報活動	各種広報・説明会												

5. オンデマンドバスの プロモーション施策

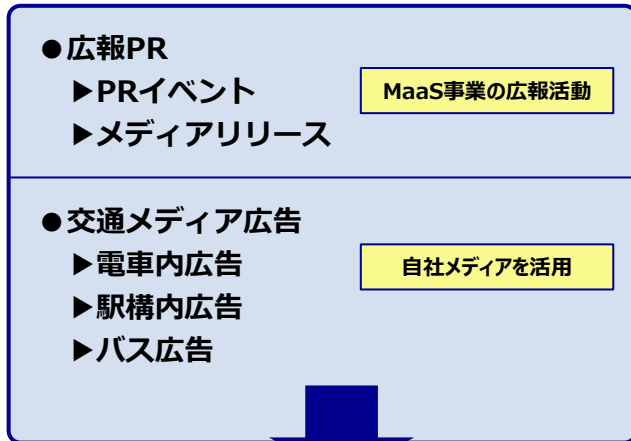
プロモーション施策

①大阪市域全体②オンデマンドバスエリア（生野区・平野区）の2方向で異なるプロモーションを展開。

広域プロモーション(大阪市内)

Osaka MetroのMaaSをPR

認知促進：告知広告



● WEBサイト
(オンデマンドバス公式サイト)

Maasアプリダウンロード

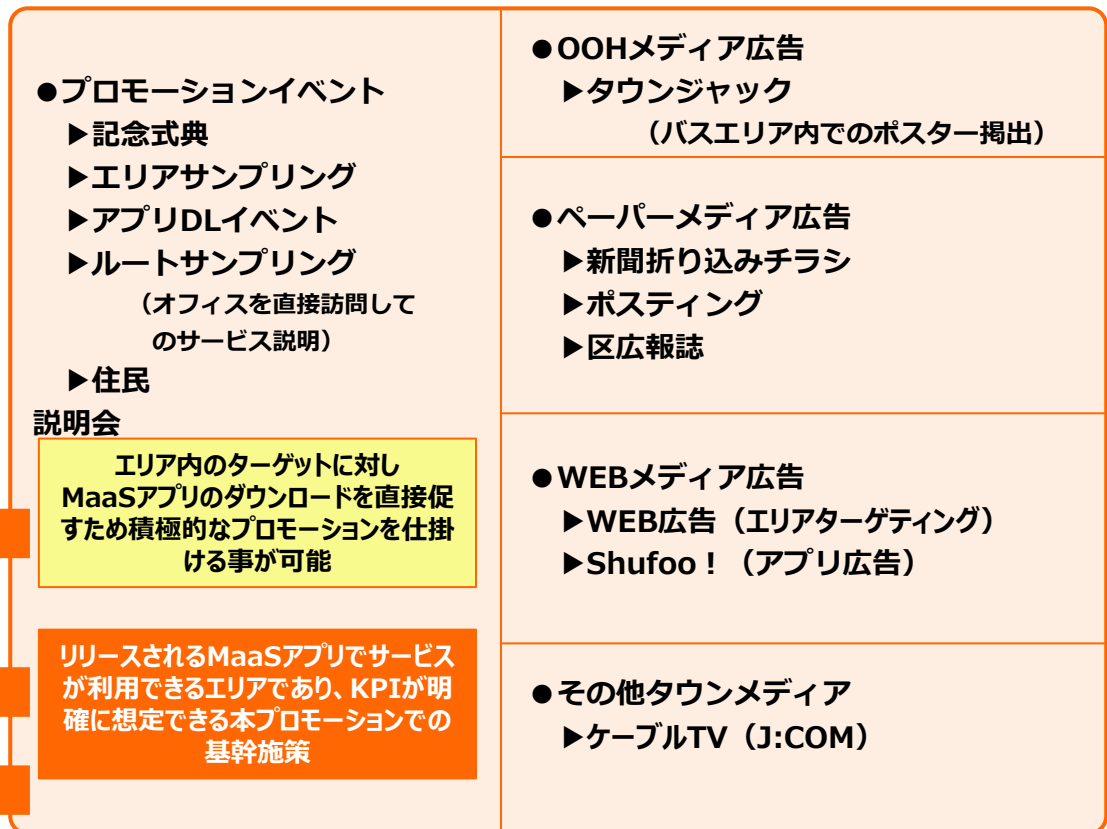
オンデマンドバスの利用促進

エリアプロモーション(生野区・平野区)

オンデマンドバスの利用促進をPR

利用促進：イベント

認知促進：告知広告





Osaka Metro Group

本資料に掲載されている情報のうち、過去の実績以外は将来の見通しであり、
これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいています。
従って、実際の業績はこれらと異なる結果になる場合がありますことをご了承ください。